

【切手デザイン】

2015年青森ねぶた祭で運行・跳人賞を受賞した「天慶の新皇『平 将門』」や、第五代ねぶた名人千葉 作龍氏が制作したねぶたを切手の題材として選定しました。



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。



【台紙】

名人のねぶた

ねぶたを作り始めて五〇年以上が過ぎた。
名人の認証を受けて四年。
作ったねぶたは一五〇台を優に超えた。
同じ題材でもどれひとつとして同じねぶたはない。
出来の良いねぶたも悪いねぶたも我が子と同じ。
みんな自分が命を与えたねぶただ。

これが名人の作ったねぶただと誰もが認めるねぶたを
作り続けなければならないという責任と誇り。
弟子たちも巣立っていった。
これからあと何台作れるだろう。

名人位はやはり心地よい重さだ。

千葉作龍

第5代 ねぶた名人
千葉作龍

昭和22年青森市に生まれる。12歳頃より父・千葉作太郎に師事、ねぶた制作を始める。昭和42年初の大型ねぶた「舟弁慶」を制作。昭和52年作龍と号す。平成4年より青森ねぶた運行団体協議会制作委員長。平成24年第5代ねぶた名人認証を受ける。ねぶたの最高賞である田村磨賞6回、ねぶた大賞5回、知事賞8回など受賞多数。

【ステッカー】

